

鳴門教育大学附属特別支援学校 安全の取り組み

本校では児童生徒の安全な教育活動のため、危機管理マニュアルの見直しや、定期的な教室等学校施設の点検整備を行っています。また、本年度はスクールバス避難訓練、不審者対応訓練、火災避難訓練、地震津波避難訓練、緊急引き渡し訓練の5回の訓練を実施しました。

毎年実施している地震津波避難訓練では、附属中学校4階へ避難します。避難経路は非常時に備えて複数のコースを想定しています。今年度は西方向の住宅街を通る経路（西経路）で避難しました。本校から最短経路の三好内科前経路が通れなかった場合に備えての訓練です。トランシーバーを5機活用し、安全確認を連絡しながら避難訓練しました。先頭は中学部、次に小学部、最後尾が高等部です。



児童生徒は教員の誘導のもと、「お（押さない）は（走らない）し（しゃべらない）も（戻らない）」を守って、落ち着いて避難することができました。毎年積み重ねている訓練の成果を感じました。避難にかかった時間は約15分で想定通りです。ちなみに最短経路の場合は約8分です。

今後も、関係機関と連携し、新しい情報を取り入れながら、地域の皆さんと共に、児童生徒全員が、安全に避難できるように、定期的に訓練を実施していきます。